

科目名	解剖生理学 I		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		1年次	前期	30時間	1単位
科目設定理由	最近の医学と医療技術は急速に進化・発展し、社会とのかかわりはきわめて密接になり、医療に対する期待とニーズも大きくなってきている。解剖学と生理学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護師を含む医療専門職の教育においては最も重要な基盤（基礎）となるものである。そこで、個人の健康にかかわる人体についての知識や理解を深め、解剖学と生理学を融合させて人体の構造と機能を学習し、看護実践に活かすために当該科目を設定した。					
学習目標	人体の発生と構成する単位(骨格系、筋系、心臓血管系、リンパ系)を学び、人体の構造を理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容			備 考	
1～8	7章 からだの支持と運動	1 からだの骨格と筋 2 骨組織と筋組織			講義	
9～14	4章 血液の循環とその調節	1 循環器系の構造と機能			講義	
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学		坂井 建雄 他		医学書院	
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験等から総合的に判断する					